

【特集1】 数量経済史研究の現況②

前号（第一九号）では「数量経済史研究の現況」を特集テーマとし、高槻泰郎氏による「近世大坂米価の再検討―「米年度」概念の提起―」、ならびに尾関学氏の「大正初期の山梨県町村是による「村民所得」の推計」の二本の原稿を掲載した。今号の岡崎哲二氏の論考はその二本の論考に続くものである。

（編集委員会）